

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-141	C-110	23-083
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之		
<b>題名 (原題/訳)</b> Mortality and alcohol-related morbidity in patients with delirium tremens, alcohol withdrawal state or alcohol dependence in Norway: A register-based prospective cohort study ノルウェーにおける振戦せん妄、アルコール離脱状態、アルコール依存症患者の死亡率とアルコール関連疾患の罹患率：登録ベースの前向きコホート研究		
<b>執筆者</b>		
Bramness JG, Heiberg IH, Høye A, Rossow I.		
<b>掲載誌</b>		
Addiction. 2023 Dec;118(12):2352-2359. doi: 10.1111/add.16297.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール使用障害、アルコール離脱、アルコール関連疾患、振戦せん妄		37465900
<b>要 旨</b>  <b>目的：</b> 振戦せん妄 (DT)、アルコール離脱状態 (AWS)およびアルコール依存症 (AD)患者における、全死因死亡率と原因別死亡率およびアルコール関連疾患の罹患率を比較した。  <b>方法：</b> 2009-2015年にノルウェー患者登録簿に登録され、AD、AWSまたはDTと診断された20-79歳の36,287人を対象とした。年間死亡率、全死因死亡率および死因別死亡率の標準化死亡比 (SMR)および診断の2年前と1年後のアルコール関連疾患の割合を比較した。  <b>結果：</b> DT患者の年間死亡率 (8.0%)は、AWS (5.0%)およびAD (3.6%)患者よりも高かった。総死亡SMRはDT患者 (9.8)で、AD患者 (7.0)およびAWS患者 (7.8)よりも高かった。死因別にみると、特に不自然な死因が多く、DT患者 (SMR=26.9)はAD患者 (SMR=15.2)およびAWS患者 (SMR=20.1)よりも高かった。  <b>結論：</b> 振戦せん妄患者では、アルコール使用障害患者よりも死亡率が高い可能性が示唆された。		